

今週のモーニングセミナー報告

令和4年8月3日（水）の講話 <第903回>

テーマ：Sanuki Astro Project 始動！！

～香川発のアマチュア宇宙開発プロジェクトが目指すものとは？～

講師：Sanuki Astro Project 代表 山本 誠一郎 様

本日の輪読「葉13条」（反始慎終）の13という数値に特別な思いがあります。アポロ13号の話です。宇宙船のトラブルから、生きて地球へ帰還することに大変苦労したドラマです。Sanuki Astro Project（略して：SAP）はどのような活動をしているのかの説明。ロケットはどうして飛ぶのか？秒速1万kmの噴射実験の説明。飛行機とロケットの違い。リーマンサット・プロジェクトに入会していた。香川の地で宇宙開発をしていきたい。SAP団体の目的、夢や目標。できないことがどうやったらできるようになるのか？明るい未来を作る目的。目標高度100kmロケットを作成する。ホリエモンや神奈川大学ロケット部、突破できない壁を自分たちで作ってるのではないのでしょうか？液体窒素の実験をして、燃費もよくしたい。途中で3Dプリンターが壊れた。技術力が駄目だった、試作品は-192度になると素材を弱らせる性質がある。日本の宇宙開発の父（糸川英夫）の生き方にマインドを観た。「人生で最も大切なことは、逆境とよき友である」ハヤブサの設計者として、終戦後日本では飛行機を作ってはならないと決められた事。そして脳波測定器を作った。1954年世界に差を付けられていると感じて、「明日からは、ロケットを作るぞ～」あまりかから帰ってきた時、予算も何もない時、中島飛行機では、ハヤブサを作った時の集まった材料は鉄くずと火薬しか集まらなかった。ほとんどの人があきらめムードだった、ペンシルロケットを作り計器類がないため横方向に飛ばした。その後世界でのトップクラスの宇宙開発の技術を持てるようになった。前例がないから挑戦しないのではなく、糸川先生の「前例がないからやってみよう」という言葉が最後に心に響きました。

担当者：赤山 芳隆

宇宙開発プロジェクトについての講話ありがとうございました。ロケットはどうして飛ぶのか？風船と同じ原理。将来は宇宙エレベーターができる。ミサイルとロケットは機能は同じ、軍事目的でなく宇宙開発目的。今年サヌキアストロプロジェクトを立ち上げ、23名の仲間を取りくんでいます。いろいろな3Dプリンターを使って試行錯誤、今週末にはエンジンの組み立てができるようになる。宇宙、ロケットの話をする山本さんの目は輝いていて子供のころからのすきだったことに取り組む姿、倫理法人会の歌、夢かぎりなくを実践している人だなと思いました。また戦後にロケット開発に取り組んだ糸川さんは集まった材料が鉄くずと少量の火薬だけで、他人からはできるわけないと言われたが何度もチャレンジする。「できない」言葉を使わず、「できる理由」を見つけ取り組んでいった話をされました。すぐにあきらめる私に足りないことだと思いました。好きなことに熱心に取り組む山本さんはいつもよりさらにかっこよかったです。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは8月10日（水）朝6:00～7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「記憶に残らなくても人格に残る」と題しまして香川県善通寺琴平倫理法人会 幹事（株）川上板金工業所 カルチャーセンター長 三宅崇博 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 16社 16名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp